

新卒・若者の採用ができる！ 採用力向上セミナー

Day
1

トークセッション

～ 企業選びのポイントについて ～

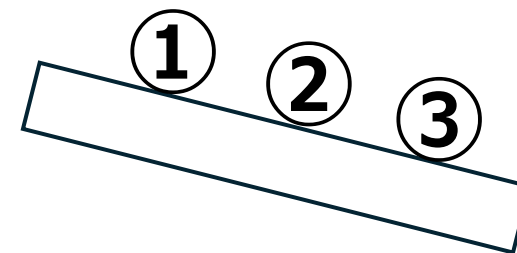
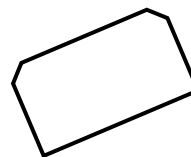
トークセッション

～ 企業選びのポイントについて ～

登壇者プロフィール

	①福王寺希美	②廣原 樹	③木元美里
所属	東京都内大学4年生 文学部人文社会学科社会学専攻	東京都内企業	福島県内企業
経歴	福島県出身、県外大学に入学 県外企業（東京都）へ就職予定	福島県いわき市出身、 県外大学（社会情報学部）卒業後、 県外企業に就職	福島県南相馬市出身、 県外大学（経営学部経営学科）卒業後 県内企業に就職
県内・県外就職の理由	県内企業では自分のやりたい仕事や目指しているキャリア、10年後の理想とする自分の姿が叶えられない。	・魅力的な企業が少なかった ・平均給与水準の低さ ・新興企業の数が少ない ・ビジネスのスピード感の違い	地元で家族の近くで頑張りたい。都内での就職に前向きになれなかった。

ファシリテーター



名前	①福王寺希美	②廣原 樹	③木元美里
企業選びの際、最初に絞り込むキーワード	最初に絞り込むキーワードは「職種」。 キーワードの掛け合わせはある程度希望が叶えられていればよいという思考 「勤務地」「業界・職種」「待遇条件」	「年収」 掛け合わせていたキーワードは 「営業」「業界（M&A、不動産、人材）」	従業員規模 300人未満 福利厚生 法人営業
就職先を決定する際に重要視するポイント	「給料」「福利厚生」「仕事内容」 「研修・教育制度」「企業の将来性」	「誰のもとで働くか」が重要。 どんな上司のもとで働くか、どんな社長のもとで学ぶかが本当に大切	自分が成長できる（自分で考えて働く） 会社自体が成長していく見込みがあるか 会社の雰囲気・社風（若手から裁量権もって働ける）
就職について最終的な決め手	社長や社員の方とお話をする機会があり、私に期待を寄せていること、会社の将来的な方向性を示してくれたこと。また、自分のしたい仕事と会社の事業の関係性について詳細に聞いたこと。	「俺が面倒見てやるから信じてついてこい」代表に言われた言葉 一新卒の私に対して本気の「愛」で向き合ってくれた。そんな代表の姿に惚れた。	社長自らが語られた「会社の夢」 その夢が面白そうで、自分もそれに乗っかってみたいと思った。「日本一を本気で目指す」会社で自分も頑張りたい
「働くこと」や「働き方」に対して	「長く勤めること」よりも「自分の成長」に繋がる仕事がしたい	明確に「仕事」と「私生活」を区別しているわけではなく、“働くこと”もLIFEの一部	就活開始時期は、入社したての時はできる限り全力以上を使って働きたいと考えていた。 入社を決める際には、がむしゃらに働くことに対してあまり前向きには考えていなかった。
「ワークライフバランス」に対しては、企業選びの際、どの程度重視したか	最重要ポイントではない。 将来がどの様になるか不確実であるため成長の見込みがあり、体力もある今のうちに稼げるだけ稼ぎ、経験を積んでおきたい(成長したい)	疲れたときにはしっかり休み、遊びたいときには全力で遊ぶというスタンス。 休む分だけ仕事時間をどう効率的に使うか、あるいは休みに後ろめたさを感じないように、成果（数字）で応えることを常に意識している。	仕事もリフレッシュもバランスよく自分で調整できることによって、どちらのパフォーマンスも高く保つことができる

トークセッション

～ 企業選びのポイントについて ～

Q 1 , 最初に絞り込むキーワードについて

トークセッション

～ 企業選びのポイントについて ～

Q2, 重要視するポイントについて

トークセッション

～ 企業選びのポイントについて ～

Q3, 最終的な決め手について